



風水害について

●洪水の種類～外水氾濫と内水氾濫～

◀ 外水氾濫



大雨によって、河川を流れる水が大幅に増え、堤防が決壊したり、堤防を越えて水が溢れることにより、水が流れ出す現象です。

◀ 内水氾濫



市街地に排水能力を超える多量の雨が降り、排水が追い付かず排水管や側溝から水が溢れることにより、建物や土地が水に浸かる現象です。

●大雨によって想定される被害

道路の冠水



エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。

床下・床上浸水



泥水が流れ込んでくるため、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積してしまい、片付けが大変です。

家屋の倒壊



河川沿いでは、家屋が倒壊する可能性があり、命の危険性もあります。

河川の氾濫



洪水が起きると一気に水かさが増すため、注意しましょう。

●雨と風の勢い

◀ 雨の強さと降り方の目安

	やや強い雨 10mm以上～20mm未満	強い雨 20mm以上～30mm未満	激しい雨 30mm以上～50mm未満	非常に激しい雨 50mm以上～80mm未満	猛烈な雨 80mm以上
1時間雨量 (予報用語)					
状況のイメージ	・ザーザーと降る。 ・地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	・どしゃ降り。 ・傘をさしていてもぬれる。	・バケツをひっくり返したように降る。 ・道路が川のようになる。	・滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。 ・傘は全く役に立たなくなる。 ・車の運転は危険。	・息苦しくなるような圧迫感がある。 ・恐怖を感じる。

◀ 風の強さと吹き方の目安

	やや強い風 10m/秒以上～15m/秒未満	強い風 15m/秒以上～20m/秒未満	非常に強い風 20m/秒以上～30m/秒未満	猛烈な風 30m/秒以上
風の強さ (予報用語)				
状況のイメージ	・風に向かって歩きにくくなる。 ・傘がさせない。	・風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。	・何かにつかまっていないと立っていられない。	・屋外での行動は極めて危険。

●防災に関する主な気象情報

記載している情報は、令和8年5月下旬から運用開始予定です。警報、注意報等の詳しい内容やその他の気象情報については、気象庁ホームページで確認してください。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや土石流	状 況
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	災害が発生している(またはいつ発生してもおかしくない)ときに発表されます。
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	災害のおそれが高いと予想したときに発表されます。
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	災害のおそれがあると予想したときに発表されます。
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	気象状況が悪化したときに発表されます。
警戒レベル 1	早期注意情報			今後、気象状況が悪化するおそれがあるときに発表されます。

気象防災速報 極端な現象を速報的に伝える情報です。

記録的短時間大雨	数年に一度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときに発表されます。
線状降水帯発生	大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続いているときに発表されます。



気象庁ホームページ
気象情報